

中野候補が愛知 14 区で街頭宣伝 党県委員会の第2次全県キャラバン



中野たけし比例候補は7日、新城市、豊川市の4カ所で、金原のぶゆき愛知14区候補と、街頭宣伝をしました。党県委員会が取り組む総選挙勝利、比例東海ブロック3議席獲得をめざす第2次全県キャラバンです。

中野候補は「米国第一」を掲げるトランプ米大統領を持ち上げる「日米同盟第一」の安倍首相を批判。市民・野党の本気の共闘で自民党政治を打ち破ろうと訴え

ました。金原候補は日米2国間の自由貿易になれば、TPP以上の打撃となり、日本の農業は壊滅すると述べ、「日本共産党は農業を応援します」と訴えました。浅尾洋平新城市議、佐藤郁恵、安間寛子両豊川市議も訴えました。陸上自衛隊駐屯地のある豊川市では70歳の男性が「豊川の自衛隊員を南スーダンに送るな。憲法を守れ」と応援してくれました。

浜岡原発事故避難計画など聞き取り しまづ議員・御前崎市

しまづ幸広衆院議員は6日、浜岡原発のある静岡県御前崎市を訪れ、同市の山崎防災課長、長尾秘書政策課長から原子力災害における避難計画や避難訓練の実情について聞き取りを行いました。清水



澄夫市議も同行しました。また、病院や福祉施設などに作られている放射線防護対策（シールド化）について、白羽公民館も視察。避難困難者やけが人の収容など、多くの課題が浮き彫りになりました。

危険な踏切、ホームを視察 もとむら議員ら・一宮市

もとむら伸子衆院議員は4日、危険で改良が必要だと国土交通大臣が指定した愛知県一宮市の名鉄「今伊勢（いまいせ）駅」南、名鉄「石刀（いわと）駅」南の踏切の安全対策について現地調査しました。また、狭い石刀駅ホームも視察、同市の尾関宗夫、彦



幅の狭いホームや踏切を視察

せまいホーム
名鉄「石刀駅」
(愛知県一宮市)

名鉄「今伊勢駅」南の踏切
(愛知県一宮市)

坂和子両市議が案内しました。その後、いたくらの正文10区候補と合流し、党今伊勢後援会が主催した住民懇談会で住民の声を聞きまし

た。「以前は踏切に人がいて開閉していた。人を置いて“開かずの踏切”の調整ができないか」など、質問や要望が寄せられました。

もとむら議員は「昨年、全会一致で改正された踏切道改良促進法は、鉄道事業者が同意しなくても危険な踏切は『危険』と認定するものです。カラー舗装などへの補助制度もでき、国にしっかりとやらせたい」と述べました。

同市では具体的な避難先の市町村の確定はこれからで、3万3千人の市民の避難にあたって、予想を超える道路の渋滞、地震による道路の崩壊、要支援者の対策など、問題が数多く残されている状況でした。島津議員は「避難計画の実効性も問われ、やっぱり再稼働はできない、原発ゼロにと決意を新たにしたい」と話しました。

昨春秋に行った同市議団のアンケートには、踏切の道幅を広げてほしい、踏切内の凹凸をなくしてほしい、遮断機が降りている時間を短縮して、狭いホームの安全対策を、エレベーター、トイレを設置してほしいなど、多くの要望が寄せられました。

